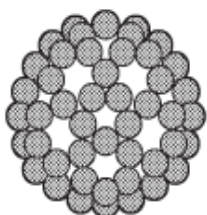


平成30年12月3日
大阪市立今川小学校
保健室

ノロウイルスの特徴と予防法

ノロウイルスとは

ノロウイルスは、直径が約38nm (0.000038mm) の球形のとても小さなウイルスで、酸や乾燥に強く、アルコール消毒でも死にません。カキなどの二枚貝に蓄積され、その貝をしっかりと加熱せずに食することで感染します。また、ノロウイルスは感染した人からほかの人に感染して、大流行を起こすこともあります。



ノロウイルスが体内に入ると

ノロウイルスが10～100個体内に入ると感染して、おなかの中で急激に数を増やします。そして、排出される便や嘔吐物には大量のノロウイルスがいて、ほかの人への感染源となります。



ノロウイルスの感染を防ぐためには

ノロウイルスの一番有効な予防法は「石けんを使った手洗い」です。特にノロウイルスが手に付きやすいトイレの後、体内に入りやすい食事の前には、しっかりと洗って、ノロウイルスを手から落としましょう。また、二枚貝は、しっかりと火を通してから食べれば予防できます。



これからの時期、かぜ・インフルエンザ、下痢や嘔吐の症状を伴う感染性胃腸炎（ノロウイルス）等が流行し始めます。インフルエンザウイルスは、のどの粘膜にくっついてから20分ぐらいで細胞に侵入し、増殖を始めます。そのため、激しい症状が突然起こるのが特徴です！突然の発熱・全身の痛み（関節痛・筋肉痛）・頭痛・起きていられないほど体がだるいなどの症状が現れたらインフルエンザかもしれません。病院で診察を受けるとともに、登校や外出を控えましょう。診断されたらかならず学校に連絡をしてください。

インフルエンザ いつから登校していいの？ 小・中・高校版

登校していいのは、この2つがそろった時





解熱後
2日
が経過している











発症後
5日
が経過している

※発熱がみられた日を発症とします

※ただし、医師に「感染のおそれがない」と認められた時は登校してもOK

ケース1	発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
				解熱	1日目	2日目	3日目 

ケース2	発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
			解熱	1日目	2日目	3日目	4日目 

ケース3	発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
					解熱	1日目	2日目	3日目 

お家の方へ

嘔吐物を適切に処理しよう

ノロウイルスに感染した人の嘔吐物には大量のノロウイルスがいて、そこからほかの人に感染を広げることがあります。適切に処理をして、感染拡大を防ぐことが大切です。

床の上に吐いたときは



マスク・手袋を着用し、0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液[※]で浸したペーパータオルなどで嘔吐物を拭き取ります。その後、再び次亜塩素酸ナトリウム水溶液で床を消毒します。

衣服に付いたときは



付着物をペーパータオルで拭き取った後、バケツやたらいなどにに入れて、次亜塩素酸ナトリウム水溶液（0.02%以上）で消毒します。この方法が使えないときは、アイロンがけをすれば、加熱により消毒することができます。

※次亜塩素酸ナトリウムは市販の塩素系漂白剤です。漂白剤の原液 10m l に対し、水 500m l を加えることで濃度が約 0.1%になります。ご家庭で塩素系漂白剤を使用する際は、使用上の注意をよく読んでご使用ください。